## $4X \pm 1$ の問題

学習院大学 理学部 数学科本田 真樹

# コラッツの問題(3x+1の問題)

与えられた数xが偶数なら2で割り、奇数なら3x+1にするという作業を繰り返すと、いつかは1になるという予想。

例: 
$$17 \rightarrow 52 \rightarrow 26 \rightarrow 13 \rightarrow 40 \rightarrow 20 \rightarrow 10 \rightarrow 5 \rightarrow 16 \rightarrow 8 \rightarrow 4 \rightarrow 2 \rightarrow 1$$

この問題は依然として未解決である。

#### 3x-1の問題

平成19年度卒業の平尾さんが研究された問題。与えられた数xが偶数であれば2で割り、奇数であれば3x-1にする。これを繰り返した結果、平尾さんは終わり方には次の3パターンがあるとし、これを予想している。

#### 予想される3つの種類

- (1) いつかは1になる 例: 15,44,22,11,32,16,8,4,2,1
- (2) 循環する循環のパターンは2つ。
  - (1)**5**, 14, 7, 20, 10, **5**
  - (2)17, 50, 25, 74, 37, 110, 55, 164, 82, 41, 122, 61, 182, 91, 272, 136, 68, 34, 17
- (3)途中から循環する 例:36,18,9,26,13,38,19,56,28,14,7,20,10,5,14 これは、上で述べた2つの循環節に途中からはいる。

## 目的

与えられた数xが3の倍数なら3で割り、3で割ったときの余りが1ならば4x-1、余りが2ならば類似した4x+1にするという作業を繰り返す。するとどのようになるかについてを研究する。

これを関数でまとめると

$$f(x) = \begin{cases} 4x - 1 & (x \equiv 1 \mod 3) \\ 4x + 1 & (x \equiv 2 \mod 3) \\ x/3 & (x \equiv 0 \mod 3) \end{cases}$$

いろいろな数字で試してみる。

例:5,21,7,27,9,3,1

このような計算を与える数を増やしていき、それまでの計算 で出てきた数が出れば計算を終了するプログラムを作ってみ たところ、コラッツの問題同様1になると予想される。

例:5,21,7,27,9,3,1 6,2,9 5の列に入る 7,27 5の列に入る :

## 結果

これらの計算結果から、自然数nからスタートすればいつかは1になると予想される。そこでnからスタートし、この計算をして1になることを予想H(n)とおく。そしてH(n)の成立しない最小の数enとする。nからスタートして、nより小さい数enは成立するので、enはから、よってこのプログラムでは与えられた数enより小さい数が出ればそれはenはenになると判断出来る。

## 予想の検証

今までの予想が実際に成り立つのか100000まで検証してみる。 また100000で行った計算をグラフにしてみる。

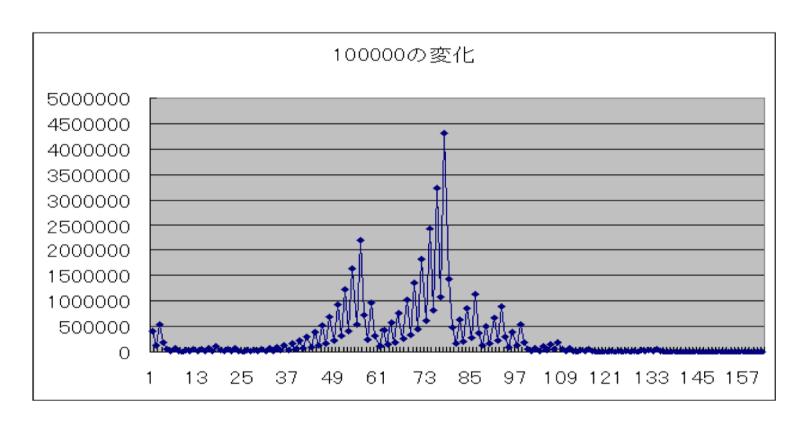


FIGURE 1. 100000 の変化

大きくなるのと、小さくなるのを繰り返しながら段々振り幅が大きくなる。そこから段々と振り幅が小さくなり始め最終的に1になる。

1番大きい数→4315653。1になるまでの計算回数→162回。

## 逆向きの演算

今までやってきた演算を逆向きに行う。 $3^n$ は必ず1にいくことは明らかなので、その数列をもとに考えてみる。

 $1 \quad 3 \quad 9 \quad 27 \quad 81 \quad 243 \quad 729 \cdots$ 

$$1 \leftarrow 3 \leftarrow 9 \leftarrow 27 \leftarrow 81 \leftarrow 243 \leftarrow 729 \leftarrow \cdots$$

$$\downarrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow$$

$$\rightarrow \qquad 2 \qquad 7 \qquad 20 \qquad 61 \qquad 182$$

$$\uparrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow$$

$$6 \qquad 21 \qquad 60 \qquad 183 \qquad 546$$

$$\uparrow \qquad \nearrow \nwarrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow$$

$$18 \quad 5 \quad 63 \quad 180 \quad 46 \quad 549 \quad 1638$$

$$\uparrow \qquad \uparrow \qquad \nearrow \nwarrow \qquad \uparrow \qquad \uparrow$$

$$\vdots \qquad \vdots \qquad \vdots \qquad \vdots \qquad \vdots \qquad \vdots \qquad \vdots \qquad \vdots$$

3の倍数と6の倍数に注目。

3の倍数  $\rightarrow$  分岐する。  $(9 = 27/3 \text{ or } 2 \times 4 + 1)$ 

6の倍数  $\rightarrow$  3の倍数でもあるが、分岐せずに3倍。

f(x) = yとおくと、上の条件から $y \equiv 3 \mod 6$ が成り立つものは2つに分岐する。プログラムを作り計算してみた。

予想したように6の倍数はそのまま3倍。

 $y \equiv 3 \mod 6$ が成り立つものは分岐した方の数が出ている。

数値の範囲を広げて検証してみたが同様の結果になった。 また出てきた数を並び替えてみると自然数を網羅する。 逆向きの演算からも、 $4x\pm1$ の計算で自然数は1になる。

#### まとめ

- ・コラッツの計算や $4x \pm 1$ の計算も1を最終的なものとして見ているが、 $4x \pm 1$ の逆向きの演算で示した通りに1と3で循環している。
- ・他の場合も試してみた。

様々なパターンを試してみたが、必ず循環するパターンは見 つからなかった。